



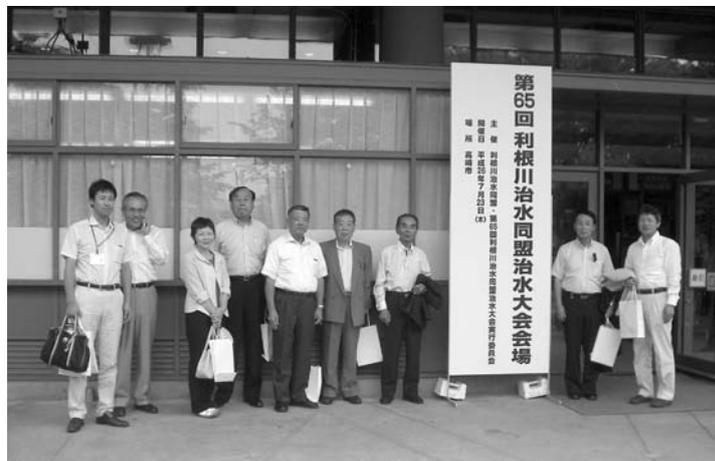
かみさと

議会だより

平成26年9月

No. 64

■発行/上里町議会 ■編集/議会だより編集委員会 〒369-0392 埼玉県児玉郡上里町大字七本木5518番地 TEL.0495-35-1216(直) FAX.33-2429



■上段は、明るいまちづくりの意見発表会

下段左は、小中学校の学校訪問、下段右は、利根川治水同盟治水大会視察



上里町マスコットキャラクター
こむぎっち

もくじ

6月定例会・臨時会の審議状況	2
一般質問	3～8
委員会のうごき	9～11
議会日誌・編集後記等	12





6月定例会

6月4日～10日

中央・長幡保育園改築事業、農業災害対策事業を含む補正予算を可決

6月定例会は、6月4日に開会され、議員6名の一般質問や条例の一部改正、補正予算など町長提出議案2件、議員提出議案1件、意見書を審議して10日に閉会しました。6月定例会で審議された内容をお知らせします。

条例関係

◎**税条例等の一部を改正する条例について**
○地方税法の一部改正に伴い改正するものです。
※審議結果 原案可決

補正予算関係

◎**26年度一般会計補正予算**
○歳入歳出それぞれ8億5799万2千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ92億8138万9千円とするものです。主な補正内容は次のとおりです。
・総合行政情報システム事業 538万4千円
・中央・長幡保育園改築事業 1328万円
・七本木・上里東・長幡児童館運営事業 68万1千円
・農業振興事業 108万円
・農業災害対策事業 8億2650万7千円

その他

◎**議会会議規則の一部を改正する規則について**
○一般質問の質問順を改めるものです。
※審議結果 原案可決

意見書関係

◎**集団的自衛権に関する憲法解釈変更に反対する意見書**
※審議結果 原案否決
◎**労働者派遣法改正に反対する意見書**
※審議結果 原案否決

7月臨時議会

7月18日

人事関係

◎**農業委員会委員の推薦について**

○平成26年7月19日、任期満了に伴う農業委員のうち、議会が選出する委員については、認定農業者連絡協議会に所属する金井 明氏、農業青年会議所に所属する根岸 剛氏、農業女性会議所に所属する金井千代子氏、笠原洋子氏の4人を推薦することに決定しました。
(参考) 農業委員は、選挙で

◎**固定資産評価審査委員会委員の選任について**

○委員である岩堀貫一氏が、平成26年7月21日をもって任期満了となるため、後任に大字藤木戸の松本勝房氏を選任するものです。
※審議結果 同意

一般質問



議席番号 11番 沓澤幸子

[質問事項]

1. 子育て支援策の充実と「子ども・子育て事業計画」について
2. 大雪による農業被害の助成状況と農業を守る施策について

1 子育て支援策の充実と「子ども・子育て事業計画」について

(問) 町長が公約した「福祉と子育て支援」の内容と、公立2園の建替えにあたり過密保育解消のために定員を増やすこと。保育園や放課後保育の拡充は、量と共に質の高い計画が大事ですので伺います。

(答) 公立保育所は、耐震診断結果を受け、園児の安全を考え仮設園舎を建設します。本園舎の改築は、財政状況、保育ニーズに対応し検討します。産み育てやすい環境整備として、民間保育所や放課後児童クラブの新設・拡充の相談には最大限の支援を考えています。

(問) 消費税増税に対し、国の特別臨時交付金は1回限りです。子育て世代の負担軽減策について伺います。

(答) 消費税増税が家計に与える影響は懸念されます。子育て支援は、国から詳細

は示されていませんが、出来るだけ支援は取り組みたいと思っています。

(問) 少子化に歯止めをかけ、子どもを産み育てられる環境整備として何が重要か、子育てアンケートの声を「子ども・子育て事業計画」にどう反映されるのか伺います。

(答) アンケートの回答率54・2%の結果を分析し、計画に反映させます。資金援助も重要ですが、情報提供や相談・交流の場の充実、多様化する保育ニーズへの対応が不可欠と考えます。

(問) 国が進めている「認定子ども園」や、小規模保育など地域型保育は、施設基準もなく、事故なども心配です。公立と民間認可保育園の充実が大事と思いますが、「子ども・子育て事業計画」で変わることについて伺います。

(答) 今のところ、「認定子ども園」の希望はないようです。言われるように責任のない保育では困るので、

公立と今ある民間の責任ある中でやっていければと思っています。これまで以上に地域のニーズを計画的に整備し、実施していく計画に変わっていきます。



2 大雪による農業被害の助成状況と農業を守る施策について

(問) 大雪被害の農業用施設の再建と解体・撤去の進捗状況、作物や苗等の被害に対する速やかな助成について伺います。

(答) 経営体育成支援事業の要望は、農家数163戸、

16億3935万7420円です。撤去は、JA埼玉ひびきの農協の確認で7割です。助成は、6月末に申請できれば8月頃に交付できます。

(問) 異常気象による災害が続くもとで、施設を補強して再建した場合、特別交付税措置の財源で町単独の検討、又は県に要望することについて伺います。

(答) 町負担は、3億2344万3000円で、再建7割、撤去8割が特別交付税で措置されるようですが、町の財政は厳しいため、郡市で相談し県なり国へ要望したいと思っています。

(問) 雪害により、生活が困難な世帯に対し、無担保、無保証人、低金利の融資制度を解り易く紹介してください。

(答) 説明会等でも周知してきましたが、農協と町の担当窓口に、制度を紹介する資料を置きたいと思えます。

一般質問



議席番号
9番 納谷 克俊

[質問事項]

1. 町立保育園について
2. 大雪による農業被害について
3. フッ化物洗口について

1 町立保育園について

(問) 建替えを実施するのであれば運営体制・形態についても全面的に検討するべきであると考えます。

(答) 今後の保育ニーズに対応した収容人数や地域の利便性も考慮しながら、財政状況も勘案して協議していきたいと考えています。

(問) 保育ニーズが高まるといっても「率」の問題であり、子どもを生む親の世代の実数が急速に減っているため、保育を必要とする子どもの絶対数は減っていきません。他の施設との併設、1園・2園体制、公設民営も含めて検討していただきたいと思えます。

(答) 子育て支援会議、プロジェクトチームの中で検討していきたいと思えます。

2 大雪による農業被害について

(問) 町内における被災農業施設の再建・修繕の進捗状況について伺います。

(答) 5月26日現在の埼玉県調査では、撤去の進捗率は6割程度、再建の進捗率は1割程度となっておりますが、JA埼玉ひびきの農協に確認したところ、7割から8割は撤去されたとのことです。

(問) 町の実質財政負担額は、どの位になるのでしょうか。

(答) 町負担分の財源は、財政調整基金を3億2344万3千円取り崩します。特別交付税の算定対象となる2億2882万7千円が交付予定なので、実質的な町の負担は9461万5千円となります。

(問) 今年度復旧が終わらない場合、補正予算は繰越になるのでしょうか。

(答) 原則は1年以内ですが、が全部終了できない場合、

まだ先のことはわかりませんが、今後検討していかなければならないと思っております。

3 フッ化物洗口について

(問) この件に関しては3回目の質問となりますが、前回質問時、教育長は学校の管理職、養護教諭、保健主事、PTA、学校薬剤師を対象としたフッ化物洗口の説明会等を開催すると同時に、保護者及び児童・生徒に対しても説明会等を開催し、フッ化物洗口に対する学校現場や保護者等と一体となって取り組む準備を進めると答弁されました。事業実施に向けて、現在どのような準備作業が行われているのでしょうか。

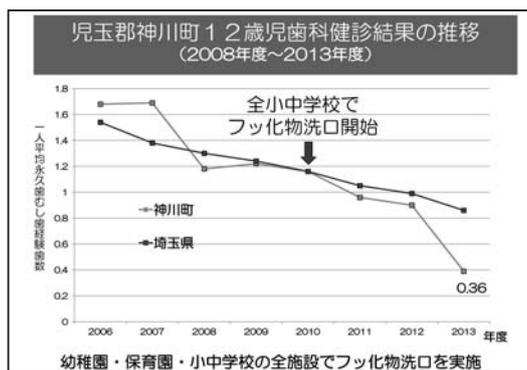
(答) 学校現場でのフッ化物洗口の理解を得るため、昨年12月に主にフッ化物洗口に携わる学校長、養護教諭、保健主事への説明会を実施しました。

その後、1月から3月にかけて説明会を踏まえて課

題の洗い出しを行うとともに、養護教諭を中心に実施にあたり、解決すべき事項について協議を行い、実施マニュアルの作成を進めています。

今後は、1学期中に学校教職員への説明会を行い、その後、児童・生徒の保護者の理解を得るための説明会、保護者アンケートを実施する予定です。

その後、2学期に安全且つ安心してフッ化物洗口ができるよう児童・生徒への体験洗口を行い、完全実施に入りたいと考えています。



一般質問



議席番号
3番 仲井 静子

[質問事項]

1. 老人福祉センター（かみさと荘）と保健センターについて
2. 公民館だよりの一本化について

1 老人福祉センター（かみさと荘）と保健センターについて

ブリなどの害虫を専門に駆除する業者等に委託するなど、早急に検討してまいりたいと考えています。

(問) 老人福祉センターと保健センターの衛生管理について、老人福祉センターの浴槽から、4月24日に採取した浴槽水から基準値を超えるレジオネラ菌が検出され、お風呂は使用中止の状態です。

また、保健センターの厨房は、以前からゴキブリが住み着いています。ゴキブリは、食中毒の原因のサルモネラ菌などを運んでくる可能性があります。両施設の今後の衛生管理について、町長にお尋ねします。

(答) 老人福祉センターは、建物全体が建築後39年経過しており、施設・設備の老朽化が著しく改修が必要な状態です。病原菌の発生は、生命に関わる問題なので二度と病原菌を検出しないようにするためには、基準に適合させた改修が必要と考えているところです。

また、保健センターの厨房でゴキブリを発見したという報告を受け、早急に対応しました。今後は、ゴキ

(問) 老人福祉センターと保健センターの耐震基準について、両施設は、建設されてから長年経過し、設備の故障がでるたびに補強・修理が行われています。耐震診断の結果と耐震基準を満たしているか、危険な建物と思われませんが、町長はどのようにお考えでしょうか。

(答) 老人福祉センターの耐震診断の結果は、基準値0.60を満たしていない結果でした。安全な0.75を目指して、公共施設の耐震診断については、今後アセットマネジメントなどと共に、見直し検討委員会における施設の機能・役割の協議とあわせて総合的に検討してまいりたいと考えています。

(問) 老人福祉センターと保健センターの建替え計画について、老人福祉センターは、昭和50年、保健センターは昭和55年に建設され、住民サービスを提供している重要施設ですが、地震・竜巻・大

雪・大雨といった自然災害が起きたとき、果たして耐えられるか不安です。安全・安心な町づくりに取り組んでいる町長の考えをお聞かせください。

(答) 両施設とも建設年や経過年数から見ますと、ここ数年で改修が検討される時期を迎えることになりませんが、現在の財政状況は、建設当時と違い、バブル崩壊以降の長期の景気低迷や少子化による人口減少により、税金など自主財源の伸びは期待できない状況です。こうした状況から、公共施設の見直し検討委員会を検討していきたいと考えています。

(問) 現在の各地区公民館発行「公民館だより」を町全体に情報提供することについて、上里町の地区公民館は5カ所あり、自分の住んでいる地区の情報だけで他の地区の情報かわかりません。学びの館である公民館の情報は、共有化と同時に町民の学びへの参加を促進する上でも、情報を全家庭に配布していただきたいと思えます。

2 公民館だよりの一本化について

(問) 現在の各地区公民館発行「公民館だより」を町全体に情報提供することについて、上里町の地区公民館は5カ所あり、自分の住んでいる地区の情報だけで他の地区の情報かわかりません。学びの館である公民館の情報は、共有化と同時に町民の学びへの参加を促進する上でも、情報を全家庭に配布していただきたいと思えます。

(答) 公民館の役割は、生涯学習の拠点施設であると共に、地域住民の触れ合いと交流の場です。町としては、中央公民館との役割分担をすることにより、地区公民館は小学校地域密着型としています。

「学びとふれあいの町宣言」に伴い、町民の学習機会を増やすため、昨年より全ての公民館で「学びと触れ合い教室」を町内全域の住民を対象に事業展開しています。地域主体型の学級、講座のため地区公民館だよりの一本化は難しいと考えています。



老人福祉センター

一般質問



議席番号 1番 飯塚賢治

[質問事項]

- 1. 災害時の医療体制について
- 2. 新しい緊急通報システムについて

1 災害時の医療体制について

(問) 直下型の大地震などの災害に備えて、災害拠点病院の整備が進んでいます。上里町民の災害拠点病院についてお伺いします。

(答) 埼玉県災害拠点病院は、現在15の病院が指定されており、埼玉県知事の要請により傷病者の受け入れや医療救護班の派遣等を行います。北部地域では、深谷日赤病院となっております。

(問) 災害発生直後では、思うに任せない状態にあります。そこで、災害発生の初動期において、被災者多数時、避難場所における一次医療の備えについてお伺いします。

(答) 一次医療に必要な医薬品等につきましても備蓄の必要性を感じており、今

後充実させていきたいと考えています。

(問) 上里町での地震被害想定は、最大震度6、避難者3823人と試算されています。耐震化を終えた学校や施設などから、可搬型災害医療用資材・救急医療セットを備蓄するお考えはありますか、お伺いします。

また、これらを使用するにあたり、自治体と医師会との間で災害時における医療救護協定の締結、さらには、必要な取り決めに議論し、煮詰めていくことが肝要と考えますが、町長のお考えをお聞かせ願います。

(答) 本庄市児玉郡医師会と歯科医師会とは、災害時の医療救護活動協定書を結んでいます。本庄児玉地域あるいは、医療圏の中で協議しながら、被害想定に対する実際の対応など検討を進めていく必要があると感じています。

2 新しい緊急通報システムについて

(問) 上里町の高齢化の進展状況とひとり暮らしのお年寄り世帯の増加予測(2025年)についてお伺いします。

(答) 平成26年3月31日現在、65歳以上の高齢者は、6770人、高齢化率21.5%。2025年は8586人、29.3%でひとり暮らしのお年寄り世帯も増加していくと思われま

(問) 緊急通報システムの設置世帯数、年間予算、利用状況、更新にかかる費用についてお伺いします。

(答) 平成25年度末での利用者数は、24名で町の負担額は56万7789円です。電話線に直結する据え置き型の通報情報装置に加え、首から下げて利用するワイヤレスのペンダント型の機器です。更新料は発生しま

せん。

(問) 振り込め詐欺の被害など、0件であってほしいと願いますが、被害状況をお伺いして、民間で運営している緊急通報システム導入の決意をお聞きいたします。

(答) 平成25年度中は、2件、平成26年度は、4.5月で集中しており、捜査中も含め3件の被害です。今後、改良が進んでいくと思いますので、機能の充実に向けて研究してまいります。



緊急通報システム

一般質問



議席番号 10番 新井 實

〔質問事項〕

1. 小学校通学路の歩道設置について
2. 浮かぶ横断歩道について
3. 公園の遊具の導入について
4. 自治体における公文書管理条例制定と公文書館設置の必要性について
5. 沿道などに植えられた樹木の絶えぬ倒木の安全管理について

1 小学校通学路の歩道設置について

〔問〕長幡小学校校庭西の藤木戸勝場線通学路の藤岡本庄線通りまでの新設道路設置延長について伺います。

〔答〕長幡小学校から県道までの歩道整備に関しては、県施工の県道藤岡本庄線の整備状況を見据えながら、整備着手時期について、調整をしていきたいと考えております。



藤木戸勝場線と県道藤岡本庄線のT字路

2 浮かぶ横断歩道について

〔問〕小・中学校の通学路「横断歩道」に交通事故防止目的

のため、運転者に注意を喚起する「浮かぶ横断歩道」の導入について伺います。

〔答〕「浮かぶ横断歩道」については、歩道の白線の周囲を黄色、青色の模様で縁取ることで、見る角度や方向によって立体的に見える、歩行者側から見ると普通であるが、運転者から見ると縞模様浮かび上がって見えるとして、静岡市の駿府城公園近くの市道にできた横断歩道のことを指しているのではないかと考えております。静岡市の内容についてお聞きしたところ、その効果及び意義については検証中と聞いており、町内に「浮かぶ横断歩道」を設置する場合、交通安全対策として極めて有効であることが実証され、かつ住民要望等が多くある地域の横断歩道であると判断した場合には、本庄警察署に強く要望をしてみたいと考えております。

3 公園の遊具の導入について

いて

〔問〕上里町の公園の遊具について、老朽化が進んで更新期をむかえ、幅広い年齢を対象に公園の遊具の多様化を図る必要性があることについて伺います。

〔答〕今後、整備を計画している神保原駅南公園等については、多世代が活用できるような複合遊具や健康遊具の設置の可能性を検討しております。

4 自治体における公文書管理条例制定と公文書館設置の必要性について

〔問〕上里町においても国の公文書管理施行令に基づいて上里町公文書管理条例を制定し、かつ公文書館を設置して自治体を持つ情報を広く町民に開示すると共に、将来の地域史研究を編纂する過程の資料を保存することについて伺います。

〔答〕公文書管理条例については、通常の公文書管理のほか、歴史的公文書の永久保存や住民利用等を定めると共に、公文書の散逸防

止と一般利用の方策等について研究していきたいと思っております。公文書館の新たな設置は難しいので、既存施設の利用や公文書の電子化の推進など研究をしてみたいと考えております。

5 沿道などに植えられた樹木の絶えぬ倒木の安全管理について

〔問〕沿道などに植えられた樹木が倒れたり、枝が折れたりして道路を通行中の歩行者が事故に巻き込まれるケースが全国各地で相次いでいますので、各自自治体や樹木の持ち主が樹木の安全管理に責任を持っていただき、倒木や枯れ枝落下の防止に向け、定期的な点検の徹底をすることについて伺います。

〔答〕樹木の倒木に対する安全管理については、職員や委託業者による定期的な町内巡回の充実を図ると共に、町民からの連絡についても迅速に対応しつつ、適切な植樹管理を行っていきたいと考えております。

一般質問



議席番号
4番 猪岡 壽

[質問事項]

1. 上里ゴルフ場の業績と今後の課題について
2. 町内巡回バスについて
3. 上里町下水道処理場予定跡地について
4. LED防犯灯による節電効果について

1 上里ゴルフ場の業績と今後の課題について

(問) 上里ゴルフ場の直近の業績について、売上、利益、入場者数の実績と今後の経営方針についてお尋ねします。

(答) 平成25年度の上里ゴルフ場の売上高は、2億6200万円、前年比約8%の増加。営業損失は、3200万円でしたが、前年より800万円赤字を削減しました。入場者数は、3万6304人で前年に比べ5127人増加しました。次に、今後の経営方針ですが、平日の稼働率が低いのが大きな問題ですので、さいたまりバーフロンティアと検討し、改善したいと考えています。

(問) 平日の稼働率を増やすには、価格をもっと安くすべきと考えますが如何ですか。

(答) 4つのゴルフ場を経営しているリバーフロンティアは、上里ゴルフ場だけ特別安くする訳にもいかない部分もありますが、話し合ってみたいと思います。

(問) 午後からの HALF プレーが3時頃終了していますが、夏場は営業を延長し、料金も値下げを検討したら如何ですか。

(答) 料金は、最低料金と思われるので、夏場の HALF プレーの営業時間の延長については、リバーフロンティアと相談し検討してみます。

(問) ゴルフ場は、入場者を増やすことが重要だと思えます。児玉工業団地等地元企業にもっとPRして、客数を増やす営業をしたら如何ですか。

(答) 児玉工業団地の中の上里工業団地会に、こむぎっち体操のPRと共にゴルフ場のPRもしています。

2 町内巡回バスについて

(問) 町内巡回バスの直近2年間の経費と利用者数をお伺いします。また、巡回バスをより効率的に運行するための施策についてお伺いします。

(答) 巡回バスの24年度費用総額は1321万円、利用者数は1万1835人です。

25年度費用総額は、前年と同額です。利用者は1万1816人です。

巡回バスをより効率的に運行するための施策については、利用者アンケートの実施、庁内による検討、業者による調査・研究を行い、町にとつて最も効果的に運行できる公共交通サービスの実現を目指していく所存です。

3 上里町下水道処理場予定跡地について

(問) 町の公共下水処理場として取得した土地が、現在空地となっていて防犯上問題です。この土地の利用計画についてお伺いします。

(答) 下水道処理場予定跡地は、計画変更後、一部は埼玉県に、一部は農地利用権設定付の貸付を行っていますが、それ以外の部分は空地となっています。

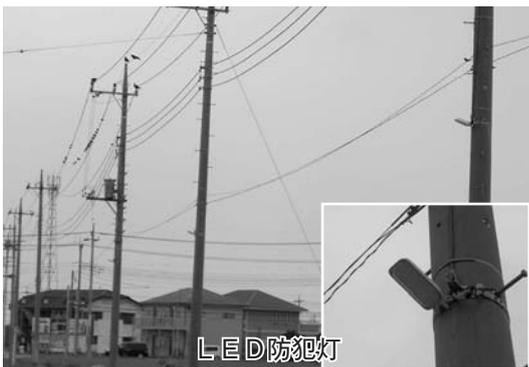
また、休耕地利用の太陽光発電設置に関しては、現在実施可能な方法はありません。今後も県の指導を仰

ぎながら太陽光発電の可能性についても研究してまいります。

4 LED防犯灯による節電効果について

(問) 今年2月に替えたLED防犯灯の節電効果について、電気料金の節減額と初期費用の回収期間についてお伺いします。

(答) 電気料金の節減額は、年間480万円程度の削減が見込まれます。初期費用は、税別で約6300万円、10年間で分割払います。



LED防犯灯

委員会のうごき

上里町議会には、総務経済常任委員会と文教厚生常任委員会の2つの常任委員会と議会運営委員会が置かれています。又、特別委員会は、議会が必要とするときに本会議の議決によって設置され、特定の重要な事項（案件）について審査しますが、現在、町議会には、設置されておりません。

総務経済常任委員会は、行財政・産業振興・都市計画・建設・上下水道関係などの部門を担当し、文教厚生常任委員会は、教育・福祉・保険関係などの部門を担当しており、両委員会とも7名で構成されています。常任委員会では、請願・陳情の審査、決算審査や所管の事務調査などを行います。9月定例会では、前年度の決算を担当部門ごとに審査し、その審査概要（審査の経過や決算を認定すべきかどうか）を本会議で委員長報告という形式で報告します。

議会運営委員会は、議会の円滑な運営を図るため設置されており、総務経済・文教厚生常任委員会より各3名の計6名で構成されています。

議会だより編集委員会は、常任委員会と議会運営委員会の正副委員長6名が編集委員となり、議会だよりの編集にあたっています。

文教厚生常任委員会

- 所管事項
町民福祉課、子育て共生課、健康保険課、高齢者いきいき課、教育委員会等の所管に関する事項



後列左より伊藤委員、高橋仁委員、岩田委員
前列左より新井委員、飯塚副委員長、植井委員長、仲井委員

総務経済常任委員会

- 所管事項
総務課、総合政策課、税務課、まち整備環境課、産業振興課、上下水道課、会計課等の所管に関する事項



後列左より猪岡委員、植原委員、齊藤委員
前列左より高橋正委員、戸矢副委員長、沓澤委員長、納谷委員

議会だより編集委員会

- 所管事項
議会だよりの発行に関する事項



後列左より伊藤委員、新井委員、植井委員
前列左より飯塚副委員長、戸矢委員長、沓澤委員

議会運営委員会

- 所管事項
議会運営及び議長の諮問等に関する事項



後列左より納谷委員、猪岡委員
前列左より高橋正委員、新井副委員長、伊藤委員長、高橋仁委員

総務経済常任委員会治水大会

総務経済常任委員会の視察研修が7月23日（水）に行われました。

毎年恒例になっている利根川流域の自治体で開催の「利根川治水同盟治水大会」に参加し、視察研修を実施しました。今年の開催地は群馬県高崎市で、会場は群馬音楽センターで開催されました。この大会の意義は1947年9月、関東地方を襲ったカスリーン台風による甚大な被害を契機



に発足し、毎年利根川流域1都5県で持回り開催されております。当日は連日の猛暑で蒸し暑い1日でした。

大会は一連の挨拶の後、「カスリーン台風による利根川上流域での被害について」をテーマに群馬大学大学院教授清水義彦先生がプロジェクターを使って講演、避難の備えは万全か？桐生市での被害を披露、今の雨の降り方（ゲリラ豪雨）又官民一体での取り組み等の説明が印象的で心を新たにいたしました。

最後に、1都5県利根川流域住民の悲願である「水害防止と豊かな水資源の確保」を追求し、治水・利水環境事業の早期実現に向けた要望を決議し、国会及び政府機関に対して要望して大会を終えました。

当日は治水大会参加に先駆け、先般世界遺産に登録され

た富岡市の「富岡製糸場と絹産業遺産群」を見学しました。明治5年操業開始以来、115年間操業し続けた製糸場や日本近代化に向けた和洋折衷の建築物など、とくに欧州フランスの技術が導入されていることが印象的でした。またこの日、安倍総理大臣が視察に来られ、その場に居合わせることができました。

文教厚生常任委員会学校訪問

文教厚生常任委員会では、7月14日（月）、15日（火）



最後に、今回の視察研修を通して治水・利水の意義、水の必要性、水の怖さを改めて痛感し、富岡製糸場と世界遺産では、開設当時の建物が殆ど原形のまま残っており、当時の関係者の苦勞が改めて認識させられました。今日1日が今後の議会活動に反映されればと思います。

の2日間、町内の小学校5校と中学校2校の学校訪問を実施しました。14日の午前には神保原小学校、賀美小学校、上里北中学校の3校、午後は上里東小学校と七本木小学校、15日の午前に長幡小学校と上里中学校を順次、訪問しました。

当日は、各学校の校長先生より、学校要覧等に基づいて学校教育目標・学校経営方針・教育指導の重点・目指す児童像・努力点等の説明をいただきました。

各学校の教育目標は、別表のとおりとなります。



各学校を訪問して、コンピュータの設備等も充実しており、生徒たちが勉強するための環境が、徐々に整備されていることを実感いたしました。また、生徒たちは、エアコンの導入を大変喜んでおり、適正な室温での勉強は集中力も増し、学力が向上していくことと思われま

いじめ問題については、現状はいじめの報告はないとのことでしたが、いじめの判断は、とても難しいようです。いじめは、家庭と学校との連

〈別表〉

- ・神保原小学校《心豊かな子 かしこい子 健康な子》
- ・賀美小学校《考える子 やさしい子 たくましい子》
- ・長幡小学校《進んで学ぶ子 思いやりのある子 元気な子》
- ・七本木小学校《進んで学び 元気で おもいやりのある子》
- ・上里東小学校《かしこく(知) なかよく(徳) たくましく(体)》
- ・上里中学校《かしこく やさしく たくましく》
- ・上里北中学校《かしこく やさしく たくましく》

携が重要であり、生徒一人一人の様子を常に意識し、少しの変化にも気付けるように努力していくことが大切なことだと思えます。

不登校については、数人はいが家庭訪問により話し合いを行い、解消に向かっているとのことでありました。また、学校側からは、渡り廊下

の屋根の雨漏りや樹木の伐採等の要望がありました。

これからも、文教厚生常任委員会として学校運営や施設

児玉郡町議会議員 前期研修会

の整備について、今後も各関係機関と密接な連携を取りながら、意見交換をしていく必要があると感じました。

例年、開催されている児玉郡町議会議長会主催による、研修会が7月2日(水)上里町役場において開催されました。この研修会は児玉郡の議会議員が一堂に集まり、前期と後期の2回に分けて研修を行うものであり、今年度は上里町が会場になりました。

上里町議会は4月に選挙があり改選をされて以来、他町の議員への挨拶などで会が始まる前から賑やかでした。反面、私達新人議員の不安そうな表情と対照的でありました。

研修会は地元町村の進行により始まり、児玉郡町議会議長会植原会長による主催者挨拶があり、続いて主催者より功績のあった議員の表彰があ

りました。今年度は、上里町の高橋正行前議長と植井敏夫前副議長が受賞をされました。

その後、児玉郡町村会長や各町の首長、本庄市長の挨拶を頂きました。各首長の挨拶の中でも、現在マスクミが話題として取り上げられている日本創生会議が発表した2040年までに消滅可能性都市(市町村)市町村の発表を意識しながら、また、厳しい市町村の財政を意識したと思われる挨拶が目立ちました。このような時期だからこそ、「あれも、これも・あれが・これが」と言ったことではなく、町民と一緒にできる協働のまちづくりを行っていくことが必要なのではという挨拶がありました

た。

次に受賞者を代表して高橋正行前議長より謝辞が述べられ開会行事が終了しました。

その後、休憩を挟み講演会が開催され、今回のテーマは『近未来の読み方と自身の備え方』(60年周期の長波の循環で先を読む)と題し、現代経営教育センター代表、大塚則弘氏の講演がありました。

始まっていきなり、車の中でニュース速報を聞いてきましたが・・・といった誰もが驚くような冗談で関心を引きながら進められ、近未来がわかっていないと政治ができないというのが持論であり、この世の中は自身が提唱する60年周期で回っており、5年刻みの15年を1区切りとしてその時代の出来事を事例として挙げ、同じ時期には類似の出来事が必ず起こりつつある、それらを念頭に政治家は政治を進めていくようにといった話でありました。時折今の混沌とした政局と二大政党化の分析、私達を取り巻く現況の確認、それについての

解説、今現在、日本は世界の中でどのような位置にあり、何が行われているかなど講師の持論に独特のユーモアを交えた講演でありました。

最後は、この時代の自分自身の備え方として人生の終盤期の生き方については健康が一番であり、将来自身の生活に直面し必要になるものは、学生時代に学んだ主要科目より、補助科目が大変重要となってくる。自己投資を怠らず、また、将来の収入減に伴い、無駄な支出を主体的に切り詰めるようにとのアドバイスをいただきました。



議会日誌

6月

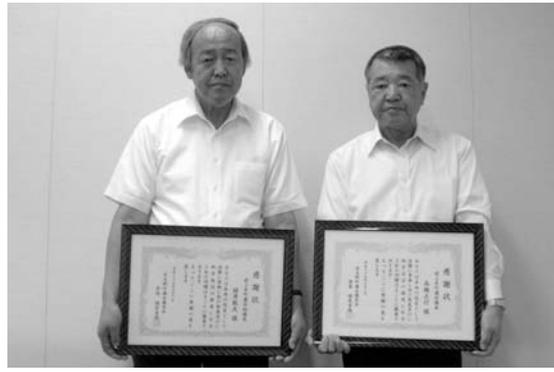
- 4日 6月定例会初日（開会、町長の行政報告、一般質問）
- 5日 一般質問
- 6日 議案審議（条例、26年度補正予算）
- 6日 全員協議会
- 10日 定例会最終日（意見書等）
- 20日 前区長感謝状贈呈式
- 27日 児玉郡市広域市町村圏組合議会
- 29日 男女共同参画週間講演会

7月

- 2日 全員協議会
- 2日 児玉郡町議会議員前期研修会
- 4日 国道17号建設促進期成同盟総会
- 14日 文教厚生常任委員会学校訪問（～15日）
- 15日 社会を明るくする運動講演会
- 18日 臨時議会
- 18日 全員協議会
- 18日 議会だより編集委員会
- 23日 利根川治水同盟治水大会
- 28日 国道17号（本庄道路）建設促進期成同盟要望活動
- 29日 埼玉県町村議会議長会視察研修（～30日）

8月

- 1日 明るい町づくり意見発表会
- 4日 児玉郡市広域市町村圏組合議会視察研修（～5日）
- 7日 岐阜県羽島市議会視察来庁
- 11日 本庄上里学校給食組合議会
- 19日 議会だより編集委員会
- 20日 議会運営委員会
- 20日 児玉郡市広域市町村圏組合臨時議会
- 31日 防災フェスティバル



高橋正議員・植井議員
児玉郡町議会議長会から表彰

7月2日（水）上里町役場で開催された児玉郡町議会議長会（植原育雄 会長）主催による前期研修会において、前年度議長会の役員として会の発展と地方自治の推進に尽力されました功績により表彰されました。
受賞おめでとうございます。



9月定例会を傍聴しませんか

定例会は、9月3日（水）に開会の予定です。
なお、一般質問は3日（水）、4日（木）の2日間を予定しています。

●お問い合わせは議会事務局へ
電話 35-1216（直通）

9月定例会の一般質問は、8月下旬に町ホームページ・フェイスブック等に掲載しますので、ご確認ください。

編集後記

暑い日差しが微かに和らいで、季節の移り変わりを感ずる今日この頃、上里町議会は9月定例会を迎えます。9月は決算議会と呼ばれ、前年度予算の執行を慎重に審査する議会です。

編集委員会では、常に読みやすく・親しみやすい「議会だより」の発行を目指していますが、読者の皆様からご意見・ご感想をお待ち致しております。

また、皆様が9月定例会に足を運んでいただき、傍聴願えれば幸いです。

委員				副委員長	委員長	議会だより編集委員会
植井敏夫	新井實	杏澤幸子	伊藤裕	飯塚賢治	戸矢隆光	

